

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公表特許公報(A)

(11) 特許出願公表番号

特表2018-532538

(P2018-532538A)

(43) 公表日 平成30年11月8日(2018.11.8)

(51) Int.Cl. F 1 テーマコード (参考)
A 6 1 B 8/14 (2006.01) A 6 1 B 8/14 4 C 6 0 1

審査請求 未請求 予備審査請求 未請求 (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願2018-541456 (P2018-541456)
 (86) (22) 出願日 平成28年10月28日 (2016.10.28)
 (85) 翻訳文提出日 平成30年5月11日 (2018.5.11)
 (86) 国際出願番号 PCT/AU2016/051022
 (87) 国際公開番号 WO2017/070746
 (87) 国際公開日 平成29年5月4日 (2017.5.4)
 (31) 優先権主張番号 2015904461
 (32) 優先日 平成27年10月30日 (2015.10.30)
 (33) 優先権主張国 オーストラリア (AU)

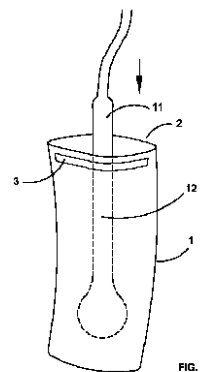
(71) 出願人 510339197
 サバン ベンチャーズ ピーティーワイ
 リミテッド
 オーストラリア 2015 ニュー サウス
 ウェールズ アレクサンドリア ガー
 デナーズ ロード 566 ユニット 2
 4
 (74) 代理人 110001999
 特許業務法人はなぶさ特許商標事務所
 (72) 発明者 ニックス, サラ
 オーストラリア 2066, ニュー サウス
 ウェールズ, レーン コーヴ ウ
 エスト, マーズ ロード 14, ナノ
 ソニック リミテッド内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 プローブカバー

(57) 【要約】

超音波プローブなどのプローブ用のカバー(12)は、可撓性の細長いポーチ(1)と、該ポーチにプローブ(12)を挿入するための口部(2)とを備え、前記口部(2)は、前記プローブの基端部(11)と係合して前記口部のシール状態を形成するシール手段を備えている。また、除染された超音波プローブを汚染から防止する方法は、可撓性の細長いポーチ(1)と、該ポーチにプローブ(12)を挿入するための口部(2)とを備え、前記口部が変形可能な剛性部分(3)を備えてなるカバーのなかに、超音波プローブを消毒後直ちに挿入するステップと、前記口部(2)を変形させて前記プローブ(12)の非消毒部分が前記ポーチ内に入らないよう前記プローブの基端部(11)と係合してシール状態にするステップとを備えてなる。



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

可撓性の細長いポーチと、該ポーチにプローブを挿入するための口部とを備え、前記口部は、前記プローブの基端部と係合して前記口部のシール状態を形成するシール手段を備えている、プローブ用のカバー。

【請求項 2】

ポーチは、非透過性のプラスチック材料から形成されている、請求項1に記載のカバー。

【請求項 3】

前記ポーチは、2枚の相対向した細長いプラスチックシートから形成されており、前記各シートは、2つの平行な長側辺と、2つの平行な短側辺とを有しており、前記両シートは、各長側辺および第1短側辺とが溶着され、第2短側辺が口部を形成している、請求項2に記載のカバー。

10

【請求項 4】

前記シール手段が変形可能な剛性部分である、請求項1～3のいずれか1項に記載のカバー。

【請求項 5】

前記口部が、前記第2短側辺に沿って隣接して配置された変形可能な剛性ストリップを備える、請求項4に記載のカバー。

【請求項 6】

前記変形可能な剛性ストリップが、金属またはワイヤストリップである、請求項5に記載のカバー。

20

【請求項 7】

前記変形可能な剛性ストリップが、1枚の細長いシートに接着または溶着した金属またはワイヤストリップである、請求項6に記載のカバー。

【請求項 8】

前記シール手段が、自身粘着性のストリップである、請求項1～3のいずれか1項に記載のカバー。

【請求項 9】

前記シール手段が、一体の弾性ストリップである、請求項1～3のいずれか1項に記載のカバー。

30

【請求項 10】

前記シール手段が、面ファスナー（Velcro（商標））ストリップである、請求項1～3のいずれか1項に記載のカバー。

【請求項 11】

可撓性の細長いポーチと、該ポーチに超音波プローブを挿入するための口部とを備え、前記口部が変形可能な剛性部分を備えてなるカバーのなかに、前記プローブを消毒後直ちに挿入するステップと、前記口部を変形ささせて前記プローブの非消毒部分が前記ポーチ内に入らないよう前記プローブの基端部と係合してシール状態にするステップとを備えてなる、除染された超音波プローブを汚染から防止する方法。

40

【請求項 12】

前記除染された超音波プローブの少なくとも一部がシール状態のときの袋の外側にある、請求項11に記載の方法。

【請求項 13】

前記ポーチは、2枚の相対向した細長いプラスチックシートから形成されており、前記各シートは、2つの平行な長側辺と、2つの平行な短側辺とを有しており、前記両シートは、各長側辺および第1短側辺とが溶着され、第2短側辺が口部を形成している、請求項11または12のいずれかに記載の方法。

【請求項 14】

前記シール手段が、変形可能な剛性部分である、請求項11～13のいずれか1項に記

50

載の方法。

【請求項 15】

前記口部が、前記第2短側辺に沿って隣接して配置された変形可能な剛性ストリップを備える、請求項 11 - 14 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 16】

前記変形可能な剛性ストリップが、金属またはワイヤストリップである、請求項 11 - 15 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 17】

前記変形可能な剛性ストリップが、1枚の細長いシートに接着または溶着した金属またはワイヤストリップである、請求項 11 - 16 のいずれか 1 項に記載の方法。

10

【請求項 18】

前記シール手段が、自身粘着性のストリップである、請求項 11 - 13 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 19】

前記シール手段が、一体の弾性ストリップである、請求項 11 - 13 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 20】

前記シール手段が、面ファスナー (Velcro (商標)) ストリップである、請求項 11 - 13 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 21】

さらに、前記ポーチをシールすると、固有の殺菌サイクルを識別する表示を前記ポーチに添付するステップと、前記プローブで検査した患者の記録に前記表示を記入するステップとを備えた、請求項 11 - 20 のいずれか 1 項に記載の方法。

20

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、消毒または除染された医療機器を使用前に再汚染から保護するために使用するカバーに関する。

【背景技術】

【0002】

本発明は、体腔内および表面超音波プローブ (「超音波プローブ」) またはガンマプローブなどのケーブルプローブを後述の消毒、好ましくは高レベル消毒 (「HLD」) をするために主に開発されたものであり、ここではこの目的を参考として説明する。しかしながら、本発明がこの目的の使用にのみ限定されないことは、理解されるであろう。

30

【0003】

超音波プローブは、直腸内、膈内、および食道内の検査を含む様々な体腔の内部処置に使用される。プローブは、ほとんどの場合完全に無菌である必要はないものの、消毒を行うことが、通常は少なくとも HLD を行って各使用の間で交差感染を防ぐことが必要である。HLD は、微生物負荷で 6 log の減少を必要とする。

【0004】

超音波プローブは、通常、温度に敏感であり、55 - 60 °C を超えて加熱することはできない。超音波プローブは、WO 2007 / 014435 号公報および WO 2007 / 014436 号公報に記載された、本出願人自身のエアロゾル法などのような様々な手順によって消毒することができる。

40

【0005】

典型的には、超音波プローブは、HLD をされた後、しばらくの間保管される。保管環境は無菌である必要はないが、プローブを清浄な環境または保護された環境に維持して極端な汚染を防ぐことが理想的である。

【0006】

典型的にはプローブが電力およびデータケーブルと一体的に構築されており、通常プロ

50

ープをコンソールと連結するので、超音波プローブの消毒には特別な課題がある。プローブ自体は常にある程度消毒されており、最も一般的にはHLDを達成されているが、プローブの基端部から突出しているケーブルは消毒されていない。予防措置として、プローブは、プローブを患者に挿入する最も深い点を越える点まで消毒されている。しかしながら、ケーブルのプローブから遠くない場所には、消毒されていない箇所がある。

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0007】

消毒されたプローブに取付けられたケーブルが汚染されている可能性があるとして、消毒してから患者に使用するまでの間のプローブの保管に問題が生じる可能性がある。

10

【0008】

場合によっては、超音波プローブは、使用する準備が整った超音波装置に隣接したラックに格納される。ラックは、消毒された状態が維持され、プローブの先端が上方に向けられ、消毒されていないケーブルが垂れ下がる。この配置は、消毒されたプローブと消毒されていないケーブルとの間の合理的な分離を提供するが、プローブは大気に開放されており、環境または取り扱いのいずれかから再汚染される可能性がある。

【0009】

消毒されたプローブは、時々、戸棚または引き出しのなかに置かれる。これらは比較的クリーンな環境を提供することができるが、そのような場合でも、戸棚や引き出しのなかに置かれたときに消毒されていないケーブルが消毒された部分、あるいは清潔ではない空間に接触する可能性がある。また、消毒されていないプローブが戸棚または引き出しに誤って置かれた場合、戸棚または引き出し、および、そのなかに収容されたプローブに対する著しい修復作業が必要となる。

20

【0010】

従って、使用前に消毒されたプローブを、一般的により広い環境から、そして、先端部から突出する消毒していないケーブルから、保護するように保管する必要がある。

【0011】

本発明は、先行技術の欠点の少なくとも1つを克服または改善し、または有用な代替手段を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

30

【0012】

第1の態様によれば、本発明は、可撓性の細長いポーチと、該ポーチ内にプローブを挿入するための口部とを備え、前記口部は、前記プローブの基端部と係合して前記口部のシール状態を形成するシール手段を備えている、プローブ用のカバーを提供する。

【0013】

文脈が明らかに必要としない限り、明細書および特許請求の範囲を通じて、「備え」、「備えている」などの語は、排他的な又は厳密な意味ではなく、言い換えれば、「含むが、これに限定されない」という意味に、解釈されるべきである。

【0014】

「シール」という用語は、カバーをプローブの基端部と係合させてプローブをカバー内に保持することを意味する。シールは気密であってもよいが、必ずしもそうである必要はない。

40

【0015】

カバーするプローブは、たとえば、体腔内または表面超音波プローブまたは他のタイプの診断用超音波(DU)プローブのような超音波プローブであってもよく、ガンマプローブであってもよい。

【0016】

ポーチは、不透水性プラスチック材料から形成されることが好ましい。ポーチは、2枚の相対向した細長いプラスチックシートから形成され、各シートは、2つの平行な長側辺と、2つの平行な短側辺とを有しており、前記両シートは、各長側辺および第1短側辺と

50

が溶着され、第2短側辺が口部を形成してもよい。

【0017】

前記シール手段は、変形可能な剛性部分であってもよい。この場合、前記口部は、第2の短辺に沿って隣接して配置された変形可能な剛性ストリップを備える。変形可能な剛性のストリップは、金属ストリップまたはワイヤストリップであってもよい。これは、1枚の細長いシートに接着または溶着することが好ましい。

【0018】

あるいは、前記口部のシール手段は、自己接着性ストリップ、一体化弾性ストリップ、または面ファスナー（Velcro（登録商標））ストリップおよびこれと同様ののものであってもよい。

10

【0019】

ポーチの、プローブの基端部の周りをシールするためのどのような適切な手段でも、好適であろう。

【0020】

第2の態様によれば、本発明は、可撓性の細長いポーチと、該ポーチにプローブを挿入するための口部とを備え、前記口部が変形可能な剛性部分を備えてなるカバーのなかに、前記プローブを消毒後直ちに挿入するステップと、前記口部を変形ささせて前記プローブの非消毒部分が前記ポーチ内に入らないよう前記プローブの基端部と係合してシール状態にするステップとを備えてなる、消毒されたプローブを汚染から防止する方法を提供する。

20

【0021】

カバーは、上記のように構成されることが好ましい。

【0022】

前記消毒されたプローブの少なくとも一部がシール状態のときの袋の外側にあることが好ましい。

【0023】

さらに別の態様では、本発明は、第2の態様の方法であって、さらに、前記ポーチをシールすると、固有の殺菌サイクルを識別する表示を前記ポーチに添付するステップと、前記プローブで検査した患者の記録に前記表示を記入するステップとを備える。

【0024】

本発明のポーチは、いずれの消毒レベル、すなわち低レベルの消毒、中レベルの消毒、および高レベルの消毒で消毒されたプローブに使用するのに適している。

30

【図面の簡単な説明】

【0025】

【図1】本発明のポーチを示したものである。

【0026】

【図2】超音波プローブに対する本発明のポーチを示したものである。

【0027】

【図3】1～6は、本発明のポーチの使用に伴う工程を示したものである。

【0028】

【図4】表示を添付するオプションステップを含む、ポーチを伴う消毒プロセスを示したものである。

40

【発明を実施するための形態】

【0029】

本発明の好ましい実施形態を、単なる例として、添付の図面を参照して、以下に説明する。

【0030】

本発明を、以下の実施例を参照して説明するが、これらの実施例は、すべての点において例示的であり、非限定的であるとみなされるべきである。

【0031】

50

図 1 に示すように、本発明のカバーは、可撓性を有する細長いポーチ 1 と、このポーチにプローブを挿入するための口部 2 とを含む。

【0032】

ポーチの部分は、事実上、大部分の腔内および表面プローブを収容する大きさのプラスチック製の袋であり、微生物に対して不透過性である。通常の使用に耐えるのに十分な丈夫さを有するものであれば、任意の規格の適切なプラスチックを使用することができる。ポーチは使い捨てで設計されている。ほとんどのプローブに対応させるために、ポーチは、典型的には、長さが 36 cm、幅が 11 cm である。袋は、1 枚のプラスチックから、または、口の反対側辺と長側辺の周りを融着させた 2 枚のプラスチックのシートから形成されてもよい。

10

【0033】

プラスチック製の袋は無菌である必要はないが、たとえば ISO 認証クリーンルームなど、厳しい基準の下で高品位の材料を使用して、高い基準で製造する必要がある。

【0034】

図 2 に示すように、口部は、プローブ 12 の基端部 11 の周囲で口を閉じることを可能にする変形可能な剛性部分 3 を有する。これは、典型的には、ポーチの口を横切って延びる金属ストリップまたはワイヤの形態である。金属ストリップまたはワイヤは、プラスチックの中に融着されてもよく、または外側の、またはより好ましくはポーチの内側のいずれかで、ポーチの口に接着されてもよい。

【0035】

20

図 3、特に図 3 の 4 に示すように、使用時に、プローブ 12 は、ポーチ 1 のなかに、そのほぼ完全な深さまで挿入される。これは、除染装置からプローブを取り出した後、できるだけ早く行われる。完全に挿入されると、口をプローブの基端部 11 の周りに巻き付けて、使用者によるストリップまたはワイヤ 3 の変形を利用して、プローブの基端部 11 の周りの袋の口のシール状態を維持する。プローブに取り付けられたケーブルは、ポーチから突出している。

【0036】

別の実施の形態では、シール手段は、自己粘着性のストリップである。これは、たとえば、口部の一方側の内側に接着された接着ストリップであってもよい。接着剤ストリップは、カバーの一方の側がプローブの基端部の周りをシールした状態に維持するように、接着剤部分を使用する前に取り除かれるマスクによって覆われることが好ましい。

30

【0037】

さらに別の実施形態では、シール手段は、ポーチの口の一部または全部の周りに延びる一体の弾性ストリップである。口は、プローブを挿入する際に拡張されて、プローブの基端部の周囲を締め付けることができる。

【0038】

さらに別の実施形態では、シール手段は面ファスナー (Velcro (登録商標)) ストリップである。このストリップは、ポーチの口の内側に、すなわち、口の方の側にフック面 (a hooked face) が、反対側にはアイレット面 (an eyelet face) があってもよい。あるいは、このストリップは、ポーチの外側にあり、収容されたプローブの周りに巻きつけられ、外側から固定される。

40

【0039】

シール手段は、たとえば、ポーチの口の周りの 1 つまたは 2 つ以上のループ内を通るひもであってもよい。

【0040】

ポーチ内のプローブの全部分が確実に消毒されていることを確認することは重要である。プローブ 12 の消毒された部分 13 は、袋の口 2 から突出して、すぐに隣接しているはずである。プローブの消毒されていない部分 (非消毒部分) 14 がポーチ 1 内に封止されている場合、そのプロセスは自己破壊的である。

【0041】

50

このようにしてポーチに貯蔵されたプローブは、再感染の恐れ、特にケーブルからの再感染の恐れなしに、任意の場所に保存することができる。

【0042】

プローブを使用したい場合、それを使用場所に持ち帰り、カバーを取り外して直ちに使用することができる。取り外したカバーは廃棄される。カバーの存在は、プローブがきれいであることの指標であり、患者の信頼を高めることができる。

【0043】

このような袋の使用は、図4に示すように、各HLDサイクルのトレーサビリティを向上させる上でさらなる利点も有する。トレーサビリティは、欠陥のある装置またはプロセスを容易に検出することができることを意味する。

10

【0044】

除染サイクルが完了すると、物品が上述したように袋に入れられて、除染サイクルの特定の詳細が記載されたタグまたはステッカー20が袋に添付される。多くの場合、現代の汚染除去装置は、殺菌の詳細を印刷し、殺菌装置と使用したパラメータを一意的に識別することができる。

【0045】

プローブは、使用準備ができるとカバーが取り外される。その段階で、殺菌サイクルの詳細を袋から得て（ステッカーを剥がすなどの物理的形態で、あるいは手作業で転写またはデジタルで取得して）、患者の記録に記入することができる。

20

【0046】

したがって、カバーは、滅菌サイクルの詳細を個々の患者と結びつける手段を提供する。本発明は、滅菌サイクルの詳細を個々の患者と結びつけを、従来の方法論よりもずっと容易に行うことができる。

【図1】



FIG. 1

【図2】

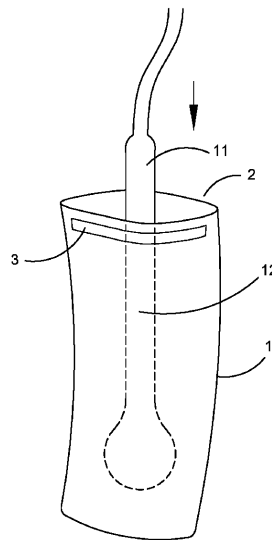


FIG. 2

【 図 3 】

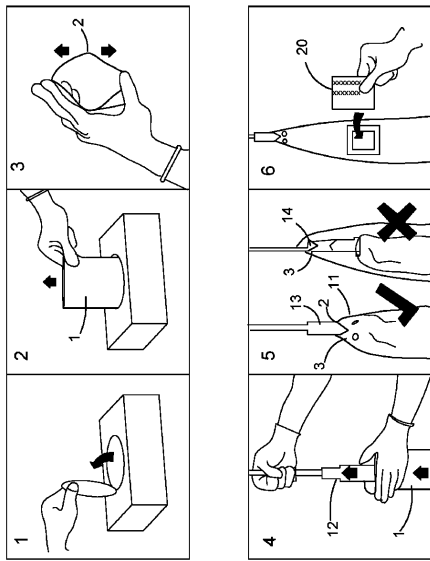


FIG. 3

【 図 4 】

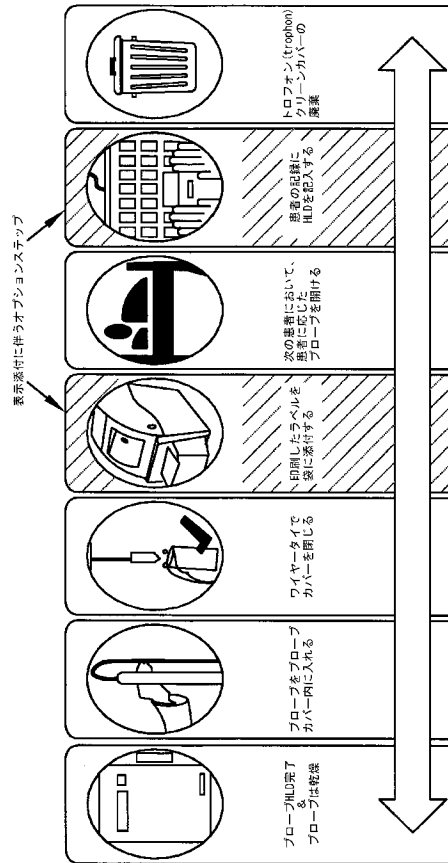


FIG. 4

【 国際調査報告 】

| INTERNATIONAL SEARCH REPORT | | International application No. PCT/AU2016/051022 |
|---|--|--|
| A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER A61B 8/00 (2006.01) A61B 1/00 (2006.01) A61B 50/00 (2016.01) | | |
| According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC | | |
| B. FIELDS SEARCHED | | |
| Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols) | | |
| Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched | | |
| Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used) | | |
| EPODOC, WPIAP, TXTE: IPC: A61B19/02, A61B50, A61B46/10, A61B1, A61B8; CPC: A61B2050/002, A61B2050/0067/LOW, A61B2562/242, A61B8/4422, A61B1/00142/LOW, A61B46/10/LOW, A61B2050/005/LOW, A61B1/00144, A61B2050/314/LOW, A61B2050/3015, A61B50/30/LOW, A61M25/002, A61B8, A61B6, A61B46/17, A61B6/4423; Keywords: cover, bag, sterile, probe, and like terms; Applicant/Inventor names searched in EPODOC. ESPACENET and GOOGLE PATENTS: CPC: A61B8/4422; Keywords: sterile, cover, bag, probe, ultrasonic, and like terms. GOOGLE and GOOGLE IMAGES: Keywords: ultrasound, probe, storage, clean, sterile, cover, and like terms. Applicant(s)/Inventor(s) name searched in internal databases provided by IP Australia. | | |
| C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT | | |
| Category* | Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages | Relevant to claim No. |
| Documents are listed in the continuation of Box C | | |
| <input checked="" type="checkbox"/> Further documents are listed in the continuation of Box C <input checked="" type="checkbox"/> See patent family annex | | |
| * Special categories of cited documents: "A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance "E" earlier application or patent but published on or after the international filing date "L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified) "O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means "P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed | "T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention "X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art "&" document member of the same patent family | |
| Date of the actual completion of the international search 23 December 2016 | Date of mailing of the international search report 13 December 2016 | |
| Name and mailing address of the ISA/AU AUSTRALIAN PATENT OFFICE PO BOX 200, WODEN ACT 2606, AUSTRALIA Email address: pct@ipaaustralia.gov.au | Authorised officer Vivian Cheung AUSTRALIAN PATENT OFFICE (ISO 9001 Quality Certified Service) Telephone No. 0262832414 | |

| INTERNATIONAL SEARCH REPORT | | International application No. |
|---|--|-------------------------------|
| C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT | | PCT/AU2016/051022 |
| Category* | Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages | Relevant to claim No. |
| X | US 2008/0200754 A1 (BUCHALTER) 21 August 2008 Fig. 2, 3a-3f; paragraphs [0002], [0027-0028], [0030-0034]. | 1-21 |
| X | US 6402695 B1 (GRIMM) 11 June 2002 Fig. 1 and 2; column 3, lines 4-6 and 20-22. | 1-21 |
| X | US 2006/0264751 A1 (WENDELKEN et al.) 23 November 2006 Fig. 3; paragraphs [0034], [0039]. | 1-21 |
| A | US 2008/0139944 A1 (WEYMER et al.) 12 June 2008 Paragraphs [0029-0031]. | 1-21 |
| A | WO 2008/024515 A2 (ULTRASOUND VENTURES, LLC) 28 February 2008 Paragraph [0038]. | 1-21 |
| | | |

| INTERNATIONAL SEARCH REPORT Information on patent family members | | International application No. PCT/AU2016/051022 | |
|---|-------------------------|---|-------------------------|
| This Annex lists known patent family members relating to the patent documents cited in the above-mentioned international search report. The Australian Patent Office is in no way liable for these particulars which are merely given for the purpose of information. | | | |
| Patent Document/s Cited in Search Report | | Patent Family Member/s | |
| Publication Number | Publication Date | Publication Number | Publication Date |
| US 2008/0200754 A1 | 21 August 2008 | US 2008200754 A1 | 21 Aug 2008 |
| | | US 7665893 B2 | 23 Feb 2010 |
| US 6402695 B1 | 11 June 2002 | US 6402695 B1 | 11 Jun 2002 |
| | | US 6267726 B1 | 31 Jul 2001 |
| US 2006/0264751 A1 | 23 November 2006 | US 2006264751 A1 | 23 Nov 2006 |
| US 2008/0139944 A1 | 12 June 2008 | US 2008139944 A1 | 12 Jun 2008 |
| WO 2008/024515 A2 | 28 February 2008 | WO 2008024515 A2 | 28 Feb 2008 |
| | | CA 2662254 A1 | 08 Mar 2007 |
| | | EP 1931261 A2 | 18 Jun 2008 |
| | | EP 2059174 A2 | 20 May 2009 |
| | | EP 2059174 B1 | 16 Mar 2011 |
| | | EP 2347717 A1 | 27 Jul 2011 |
| | | EP 2347717 B1 | 16 Jan 2013 |
| | | JP 2009506830 A | 19 Feb 2009 |
| | | JP 2010501267 A | 21 Jan 2010 |
| | | US 2007276241 A1 | 29 Nov 2007 |
| | | US 8118743 B2 | 21 Feb 2012 |
| | | US 2007112272 A1 | 17 May 2007 |
| | | US 8257264 B2 | 04 Sep 2012 |
| | | US 2007276253 A1 | 29 Nov 2007 |
| | | US 8496593 B2 | 30 Jul 2013 |
| | | US 2007073155 A1 | 29 Mar 2007 |
| | | US 8852111 B2 | 07 Oct 2014 |
| | | US 2007078346 A1 | 05 Apr 2007 |
| | | WO 2007027511 A2 | 08 Mar 2007 |
| End of Annex | | | |
| Due to data integration issues this family listing may not include 10 digit Australian applications filed since May 2001. Form PCT/ISA/210 (Family Annex)(July 2009) | | | |

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DJ, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KW, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA

(72)発明者 クロフト, タラ

オーストラリア 2066, ニュー サウス ウェールズ, レーン コーヴ ウェスト, マーズ ロード 14, ナノソニック リミテッド内

(72)発明者 ポタス, マイケル

オーストラリア 2066, ニュー サウス ウェールズ, レーン コーヴ ウェスト, マーズ ロード 14, ナノソニック リミテッド内

Fターム(参考) 4C601 EE17 FE00

| | | | |
|----------------|---|---------|------------|
| 专利名称(译) | 探头盖 | | |
| 公开(公告)号 | JP2018532538A | 公开(公告)日 | 2018-11-08 |
| 申请号 | JP2018541456 | 申请日 | 2016-10-28 |
| [标]申请(专利权)人(译) | 萨班有限公司 | | |
| 申请(专利权)人(译) | 萨班风险投资私人有限公司 | | |
| 发明人 | ニックス, サラ クロフト, タラ ポタス, マイケル | | |
| IPC分类号 | A61B8/14 | | |
| CPC分类号 | A61B1/00135 A61B8/4422 A61B46/10 A61B46/13 A61B46/17 A61B50/30 A61B2017/00946 A61B2090/081 A61B8/4438 | | |
| FI分类号 | A61B8/14 | | |
| F-TERM分类号 | 4C601/EE17 4C601/FE00 | | |
| 优先权 | 2015904461 2015-10-30 AU | | |
| 外部链接 | Espacenet | | |

摘要(译)

诸如超声波探头的探头盖 (12) 包括柔性细长袋 (1) 和用于将探针 (12) 插入袋中的口 (2), 2) 包括密封装置, 该密封装置接合探针的近端 (11) 以形成嘴的密封状态。此外, 从污染防止消毒的超声波探头的方法, 包括一个柔性细长袋 (1), 口用于插入探头 (12) 与所述袋 (2), 其特征在于一些覆盖口部设置有一个刚性部分 (3) 变形, 步骤立即非插入消毒超声波探头后, 说让变形的口部 (2) 的探针 (12) 消毒部分进入袋中以及与探针的近端部分 (11) 接合以使其进入密封状态的步骤。

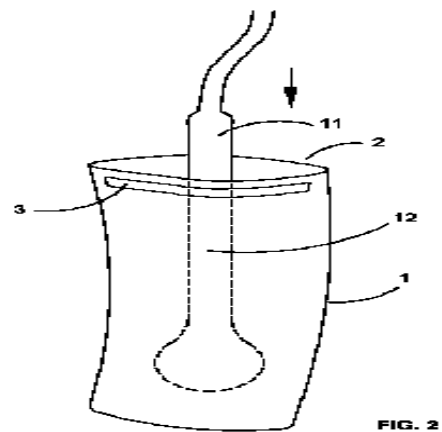


FIG. 2